

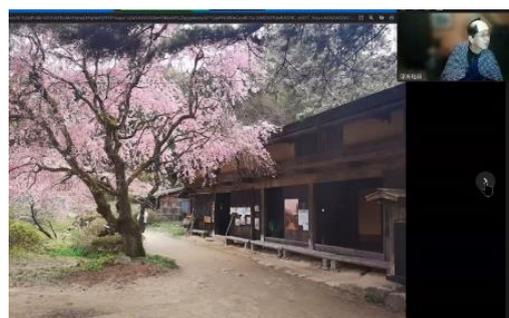
「おんらいん中山道 ～欧米人を魅了するサムライロードを行く～」 研修終了報告

2021年12月17日(金)15:00～17:00 JGA 第二支部運営委員会

コロナ禍になってまもなく2年になろうとしています。相変わらず実地研修が難しい状況下、第二支部ではオンラインによる中山道研修を催行いたしました。オンラインという特性ゆえもあり、全国から参加者が集まり、総勢106名（会員89名、非会員16名、賛助会員1名）という大結集のうち、ライブ参加者は61名と、大盛況となりました。

今回講師にお招きしたのは、岐阜県中津川市在住の全国通訳案内士、浮洲和典（うきすかずのり）氏です。地元を拠点にご活躍され、中山道ガイドのエキスパートとしてその名を馳せていらっしゃいます。中山道だけでなく、さらに広いエリアにかけてハイキング・キャニオニング・サイクリングなどのアクティビティツアーのガイドもなされているので、“歩く”ことがメインとなることの多い中山道についての講義は、アクティビティツアーにおける留意点（お客様に怪我をさせないようなプラン作り）などより具体的なアドバイスも多く含まれ、大変示唆に富んだ内容でした。

講義は第一部と第二部に分けられ、第一部では中山道でも一番人気の馬籠宿から妻籠宿にかけて、ハイキングルートの実際の動画を見せながらご説明くださり、単に地図を見ているだけでは分かり得ない実際の景色まで確認することができました。これはまだ一度も現地を訪れたことのない方たちにとっては大変ありがたいものであったらと思います。



5分間の休憩後の第二部は、馬籠・妻籠に次いで人気の、藪原宿～鳥居峠～奈良井宿コースと与川道が紹介されました。欧米のお客様はとにかく長い距離でも平気で歩く方が多いそうで、何日もかけて中山道の各宿を制覇したい方もいらっしゃるようです。毎日20キロのハイキングを数日間続ける…。ガイド自身も相当の体力が必要とされます。そしてその間歩きながらとにかく様々なことを話し続けることが肝要と浮洲講師はおっしゃっていました。外国のお客様にとっては、山深い田舎の原風景や、道端で見られる、日本人にとっては当たり前のことでも驚きとしてその目に映ります。それらに答えていくためには常日頃から些細なことでも説明できるように心がけておくことが必要と改めて思いました。

そして何より、浮洲講師は江戸時代の旅装束のコスプレでご登場され、和やかな雰囲気を出してくださいました。やはりガイドはエンターテイナーであるべきという心がけゆえだと思います。

今回の講義に際し、事前資料として参加者に地図や動画、そして質問回答集まで配布してください、あまりの充実ぶりに当日はほとんど質問も出ない様子となりました。相当な時間と労力を使ってご準備いただいた浮洲講師には本当に頭の下がる思いです。

最後に、浮洲講師からのメッセージをお伝えします。”実際に現地での案内等必要な方がいらっしゃればぜひご連絡ください”とのこと。今回の学びの上で現地を実際に歩いたら、頭と体と心で中山道をより理解し楽しめるのではないのでしょうか？

